

【資料1】令和3年度人権・男女共同参画課職員体制

意見等	説明等
<p>人権・男女共同参画課、指定管理者ともに男性職員の割合が低い。今や男女共同参画は男性の問題であり、今後の課題として考えてほしい。</p>	<p>職員配置について、性別の割合を設定することは困難です。 なお、第5次計画では、目標 において「男性への啓発」を重点取組としており、引き続き施策を進めていきます。</p>
<p>指定管理者の担当業務・職員配置が分からないので、フェスティバルの準備の際に困った経験がある。</p>	<p>準備段階でのご不明点は、事業担当職員（フェス担当職員）にお問い合わせください。</p>
<p>人権・男女共同参画課には、多様性を尊重し、幅広い年代への意識啓発に取り組んでほしい。</p>	<p>第5次計画では、「すべての人が輝くまち」を基本理念として、各目標の実現に向けて取り組んでいます。特に、目標 において「多様な性・多様な生き方を認める意識の形成と啓発事業の強化」を重点取組としています。 令和2年度には、主に新成人となる世代を対象とした啓発リーフレットや小中学生の保護者に向けた、性暴力啓発リーフレットを新たに作成しました。</p>

【資料2】令和2年度実施事業報告

意見等	説明等
<p>コロナ禍の中、オンラインを活用した講座に積極的に対応したことは良かった。これを踏まえ、ネット社会における事業について、考え方や方針、適切な事業、配信方法、講師に対する支払いなど検討する必要がある。</p>	<p>オンライン講座はいずれも好評をいただいておりますが、今後の運営の参考とさせていただきます。</p>
<p>事業の申込者が定員以上となった場合の対応策を知りたい。</p>	<p>定員超えの希望者をキャンセル待ちとし、キャンセルが出た場合、講座前日までに連絡がついた方に受講していただいております。</p>
<p>ガールスカウトへの出前ミニ講座は良い企画である。ボーイスカウト団にガールがいることもあるので、そちらへの声かけも行ってはどうか。</p>	<p>今後の企画の参考とさせていただきます。</p>
<p>区民企画講座の中止があった。中止はやむを得ないが、同じ企画で再度の応募があった場合の取扱いはどうなるのか。優遇してもよいのではと思う。</p>	<p>選考時に考慮しています。</p>

基本である食育を根底に置きながら、子育てに関する事業を増やしてほしい。	今後の企画の参考とさせていただきます。
-------------------------------------	---------------------

【資料3】令和3年度男女共同参画センター事業年間計画

意見等	説明等
センターを地域に知ってもらい、新たな利用者を開拓するためにも、出前ミニ講座などのアウトリーチ的な事業、センター以外の場所での事業を検討してほしい。	今後の事業計画の参考とさせていただきます。
講座等を知る機会は区報であるが、新聞購読をする家庭が減るなか、広報活動について考えなくてはならない。	区報以外には、公共施設でのチラシ配架、HPの充実、えーるだより、東京都ウイメンズプラザのツイッターなどを活用していますが、その他のメディアについても検討していきます。 なお、区報は新聞折込のほか、希望者には無料送付サービスを行っています。また、区立施設や駅広報スタンド、各コンビニ・スーパーにも設置しています。
コロナ禍の中、オンライン形式を活用して講座を実施してほしい。	オンライン講座と対面講座のそれぞれの特徴と効果を考慮しながら実施しています。
就業支援の一環として、パソコン教室は希望者も多く潜在需要を感じる。	他事業とのバランスを考慮しつつ、パソコン講座を充実させていきます。
「男性への啓発」の取組について、幅広い年齢層への取組を進めてほしい。また、「子育てに関する支援」も男性の参加を多く呼びかけることが必要である。	子育て世代の男性向けには父子での料理講座や身体を動かす講座を、熟年・高齢男性向けには仲間づくりに資する講座を、また、全世代の男性向けには家庭・職場・地域で活用できるファシリテーター講座やSNS講座などを実施して、男女共同参画の啓発に努めています。
「父子キッチンワーク」について、えーるでは給湯室以外に設備が無いので実施が難しいのではないかと。	石神井公園区民交流センターの調理室を使用して実施しています。

【資料4】利用者満足度アンケート（令和2年度）

意見等	説明等
利用者満足度はあまり変化がないが、40代の利用者が増えたことは好ましい。理由が知りたい。	コロナ禍の中、他施設を利用できなくなった団体が、「換気出来る」「広い」などの理由により新たに利用する機会が増えました。その新規利用団体に40代の方が多かったことが考えられます。
相談室の利用者が少ないことが気になる。悩み解決の糸口にえーる利用者が増えていくとよい。	当アンケートは、主に施設貸出し利用者から回答をいただいています。相談室利用者の方にはアンケートのお声がけの機会が少なく、回収実績に反映されていません。

<p>年齢層の偏りが大きいことに驚いた。回答 = 利用ではないかもしれないが、若い層の利用が少ないということかと感じる。</p>	<p>従来からの利用者は高齢者が多く、コロナ禍で団体利用を控えている反面、日常的に交流コーナーなどを利用する高齢者も多いことが数字に現れていると思われます。</p> <p>新規団体の利用が増えるなど、若い層の増加傾向はありますが、割合としては少なく、今後の課題と捉えています。</p>
<p>60代・70代の女性の利用が多いことが分かった。この年代への人権尊重・男女平等、また多様性への啓発講座があるとよい。</p>	<p>60・70年代の団体の方には出前ミニ講座を、一般利用の方には各種講座・映画上映会などを実施しています。</p>
<p>「初めて利用」が2.5%から11.6%に増加している。何か顕著な理由があれば知りたい。</p>	<p>コロナ禍の中、新規利用団体が増えています。また、「引っ越してきたので何かを始めたい」「初めてなので使い方を教えてほしい」等の問合せも多くあり、区の人口増加に伴い、新規利用の増加にも繋がっていると思われます。</p>
<p>コロナ対策について、「改善すべき点がある」の具体的な内容が分かれば知りたい。</p>	<p>以下のような意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検温、手指消毒の声かけをもっとしてほしい。 ・「利用者名簿」への記入は毎回は必要ないのではないか。 ・交流コーナー利用時に、受付で座席を指定したうえで帰る時に消毒してほしい。 ・トイレに消毒液を置いてほしい。 ・会議用にアクリル板を用意してほしい。